

編集後記

本特集を組ませていただくにあたり、私と超音波とのかかわりを振り返ってみました。その歴史は比較的浅く、2010年に第35回日本足の外科学会学術集会を開催させていただいた折、開会式直後にシンポジウム「超音波の足の外科への応用」というセッションを組ませていただいたことに始まります。超音波機器の性能が飛躍的に良くなってきた時期であり、特に足は皮下組織が薄く超音波診療の優位性を感じておりました。当時病院に掛け合ってもなかなか超音波装置を購入していただけなかったのが、教室の経費で整形外科外来に当時のハイエンドの超音波診断装置を購入しました。スポーツ診療のみならず、リウマチ診療においても超音波検査が必須になってきた時代と重なり、外来に置いていたこのエコーを、多くのグループが活用してくれました。特に上肢班が積極的で、仲西康顕講師がまだ医員の頃に超音波ガイド下神経ブロックを駆使し、wide awake 麻酔を開発してくれました。手の腱移行術などでは全身麻酔が一般的でしたが、筋弛緩状態では腱の緊張の度合いを決めるのが難しいという欠点がありました。Wide awake 麻酔は神経の知覚枝だけをブロックし、運動枝は温存されるため、術中に患者さんに指を動かしていただき、緊張の度合いを決めることができます。傷が開いた状態で手が動いている術中動画を見たときには大変驚いたことをよく覚えております。今では手と足の手術はほとんどが伝達麻酔で行っております。日本整形外科超音波学会は、1989年に日本整形外科超音波研究会として産声をあげ、2013年には学会となりました。不肖私が代表幹事を務めさせていただいておりますが、2024年には法人化する予定です。学会員も右肩上がりに増えており、これから益々楽しみな学会であると感じております。この特集に興味をもたれた方々は、是非学会を覗いていただけましたら幸甚に存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(田中康仁)

令和6年1月19日発行

関節外科－基礎と臨床－ Journal of Joint Surgery Vol.43 No.1

発行：年14回（年12回発行＋増刊号2回）

編集顧問 高倉義典／進藤裕幸／筒井廣明／吉矢晋一

編集主幹 帖佐悦男

編集委員 山崎正志／田中康仁／岩堀裕介／内尾祐司／尾崎敏文／高平尚伸／岡崎 賢／國吉一樹

発行人 吉田富生

発行 (株)メジカルビュー社

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-30

TEL 03-5228-2050／FAX 03-5228-2059

ホームページ <https://www.medicalview.co.jp>

email eigyo@medicalview.co.jp（営業部）

jjs@medicalview.co.jp（『関節外科』編集部）

印刷所 三報社印刷（株）／〒136-0071 東京都江東区電戸7-2-12

・本誌に掲載された著作物の複製権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、上映権、データベースへの取り込みおよび公衆送信権（送信可能化権を含む）、譲渡権等は（株）メジカルビュー社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, email info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

・本誌をコピー、スキャン、デジタルデータ化するなどの複製を無許諾で行う行為は、著作権法上での限られた例外（「私的使用のための複製」など）を除き禁じられています。大学、病院、企業などにおいて、研究活動、診察を含み業務上使用する目的で上記の行為を行うことは私的使用には該当せず違法です。また私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

広告申込先：（株）文 栄 社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 宮田ビル5階 TEL 03-3814-8541